

中学生の「税」についての作文

市税務課では、納税意識の高揚を目的に、次代を担う中学生を対象に「税」についての作文を募集しました。この中から最優秀賞である小松島市長賞を受賞された小松島南中学校2年の川風 梓さんの作文を紹介します。

税金に対する

イメージ



小松島南中学校 二年
川風 梓

私が小学生の時、一度だけ税金の授業があった。年金については本で読んだことがあったが、税金についてはあまり話を聞いたこともなく、所得税などどのようなものかは知らなかった。その授業では税金がない場合日本はどうなるのか等、税金の主な使い道について教えてくれた。大まかに言うと、道路の整備や救急車、ごみ収集についての話をしていた。その話だけを聞くと、税金はありがたいものだと思うが、実際の税金に

対するイメージとは少しずれていると思った。

そこで、私はもう一度税金について調べてみることにした。検索をすると、税金の使い道について、医療、教育、防衛のためと、大きく三つに分けて書かれていたが、詳細なことはあまり書かれていなかった。それに対して、近年問題となっている国会で居眠りをしている人、勤務中にツムツムをする町議についての意見は沢山書かれていた。それは、「出席をして寝ているだけで給料をもらっているのはどうなのか。ましてやその給料が税金で払われているのに納得がいかない。」と、私もこういったニュースを見ると、頑張っている人が沢山いる中で残念な現実があることにあまり良い気持ちではなかった。

このように、今の日本は税金について、暗いイメージがあると思う。悪い点は目立ちやすい良い点が隠れているのではないかとも思った。そして、私は税金に対する悪いイメージをどうすれば払拭できるかについて調べた。すると、面白い記事があった。それにはこう書かれていた。「税金が高い国ほど幸福度が高い」。確かに日本の幸福度は低く、二千二十四年現在の幸福度ランキングでは百四十三ヶ国中五十一位それに続き韓国が五十二位、両国ともに税率は十パーセントである。また、幸福度が高い国二位のデンマークと、四位のスウェーデンは税率が二十五パーセントであった。そして、税金の使い道などがあまり知られていない日本とは違い、スウェーデンやデンマークは教育費や医療費などに沢山の税金が使われていることが分かった。

例としては、ベビーカーを

国民の不満も減っていくのではないかと思う。

るのではないかとも思った。そして、私は税金に対する悪いイメージをどうすれば払拭できるかについて調べた。すると、面白い記事があった。それにはこう書かれていた。「税金が高い国ほど幸福度が高い」。確かに日本の幸福度は低く、二千二十四年現在の幸福度ランキングでは百四十三ヶ国中五十一位それに続き韓国が五十二位、両国ともに税率は十パーセントである。また、幸福度が高い国二位のデンマークと、四位のスウェーデンは税率が二十五パーセントであった。そして、税金の使い道などがあまり知られていない日本とは違い、スウェーデンやデンマークは教育費や医療費などに沢山の税金が使われていることが分かった。

おす母は市民バス無料、医療費二十歳まで無料、幼稚園から大学まで教育費無料や、出産費用無料等がある。税金が国民に還元されていることが分かりやすいため、「お金で安心を買っている。」という認識なのだそうだ。日本では、「税金は一方的に取られるもの」という感覚があると思う。このようなことから税金に対するイメージをよくするためにも、税金の使い道をはっきりと提示することや、適切なものに税金を使用することが大事になってくるのではないかと思う。また、使用した税金などを割合ではなく金額で表した方がわかりやすいとの声も上がっていたのでそういった意見にも耳を傾けて改善していくことで税金に関する国民の不満も減っていくのではないかと思う。

表彰を受けた方は次のとおりです (敬称略)。

【小松島市長賞】

小松島南中学校 2年 川風 梓

【審査員特別賞】

小松島中学校 3年 國中 渚紗

小松島南中学校 2年 松浦 由芽

【入選】

小松島中学校 3年 伊藤 華

小松島中学校 3年 徳政 日菜乃

小松島中学校 3年 豊田 翔宇

小松島中学校 3年 山下 稟乃

小松島南中学校 2年 福田 妃夏

【佳作】

小松島中学校 3年 植田 莉心

小松島中学校 3年 片山 美侑

小松島中学校 3年 上谷 瑠香

小松島中学校 3年 島田 大成

小松島南中学校 2年 蔭谷 哲太

小松島南中学校 2年 前川 櫻介

小松島南中学校 1年 赤川 太一郎

小松島南中学校 1年 濱田 明里



受賞・入選された方々